

平成23年度 東京都立町田工業高等学校 経営報告 校長 高松 清

自己評価基準：【A】十分に達成できた【B】概ね達成できた【C】あまり達成できなかった

平成23年度 東京都立町田工業高等学校 学校経営報告	
今年度の教育活動への取組	自己評価
<p>1 <b>生徒の「夢」実現に向け基礎学力、規範意識を育てる。</b></p> <p>ア 指導内容の厳選を行い、工業人としての基礎を身に付けさせる。</p> <p>イ 1年次から計画的な教科指導、進路指導を行う。</p> <p>ウ 社会人としての規範意識、職業観・勤労観を育む。</p> <p>エ 総合情報科の特質を生かし自らの進路に応じた系列を選択させる。</p> <p>オ 生徒、保護者に年間授業計画、教育課程を示し、履修・修得の指針を伝える。</p> <p>カ 生徒の学習への意欲や関心を喚起させ、到達目標を定めた学習指導を行う。</p>	<p>1ア 指導内容の厳選と工業人の基礎を身につける</p> <p>カ 到達目標を定めた学習指導</p> <p>→【中学校段階までの学習が身につけていない生徒が多く、基礎・基本を中心とした学習に力を入れた。放課後の補習、長期休業日中の補習を充実した。さらに補習を充実させることが課題。】【B】</p> <p>イ 1年次からの計画的な教科指導、進路指導の実施</p> <p>エ 自らの進路に応じた系列の選択</p> <p>オ 生徒、保護者に年間授業計画、教育課程を示し、履修・修得の指針を伝える。</p> <p>→【習熟度授業、少人数授業を充実し、基礎学力を高める指導を行った。進路指導部を中心に、進路ガイダンスを3回、進学・就職体験談を聞く会、模擬面接、工場見学等を実施し、進路指導の充実を図った。】【B】</p> <p>→【1年間をかけて、各系列の学習や進路ガイダンス等を行った。また、クラス編成委員会で希望調査を3回実施し、5系列を選択させることができた。】【A】</p> <p>→【進路ガイダンス、保護者会等において、年間授業計画、教育課程の説明を行い、履修・修得について理解を図った。】【B】</p> <p>ウ 社会人としての規範意識、職業観・勤労観を育む。</p> <p>→【上記イを実施することにより、職業観・勤労観を育んだ。また、毎朝の校門でのあいさつ指導や生活指導を徹底し、規範意識を育成した。】【B】</p>
<p>2 <b>「安全で安心できる教育環境を整える。</b></p> <p>ア 基本的生活習慣の定着を通して、生徒の自己理解を図る。</p> <p>イ あらゆる機会を捉えて、生徒の判断力、表現力を育成する。</p> <p>ウ 生徒に学習への意欲・関心や学び続ける態度を育てる。</p> <p>エ 遅刻、欠席の防止に向け健康維持、規則正しい生活リズムの大切さを分からせる。</p> <p>オ 保護者との連携、連絡を密にして手厚い指導を継続する。</p> <p>カ 身だしなみ指導（頭髪・服装に関する指導）、遅刻指導を継続実施する。</p>	<p>2ア、エ、オ、カ 基本的生活習慣の定着</p> <p>遅刻、欠席の防止と規則正しい生活リズムの定着及び身だしなみ指導の実施</p> <p>保護者との連携、連絡を密にして手厚い指導を継続</p> <p>→【毎朝の校門指導を年間を通じて実施。定期考査ごとに身だしなみ指導を実施。】【B】</p> <p>→【担任からの指導のほか、全校集会や年次集会を実施し、生徒の意識を高めた。】【B】</p> <p>ウ 学習への意欲・関心や学び続ける態度の育成</p> <p>→【各教科において基礎・基本に重点を置いた指導を行うことにより、わかる授業を目指した。総合情報科の実習指導で、毎時間レポート提出を義務付け、継続学習の大切さを育んだ。】【B】</p>

<p>3 <b>「計画的・組織的な学校運営の確立。」</b></p> <p>ア 総合情報科の特質を生かす地域との連携を強化する。</p> <p>イ 特別活動、体験学習を通して社会への参画意識をつける。</p> <p>ウ PR活動を強化し、広く都民に本校の教育活動を理解させる。</p> <p>エ 部活動の振興を図り、判断力、表現力、忍耐力をつける。</p> <p>オ 学校運営連絡協議会の評価を学校運営に生かした学校づくりを進める。</p>	<p>3ア 総合情報科の特質を生かした地域との連携強化</p> <p>→【<b>夏季中学生ものづくり教室、町田市科学教室、町田市少年少女発明クラブのペットボトルロケット大会、小学生パソコン教室等を実施し、地域との連携を図った。</b>】【A】</p> <p>ウ PR活動を強化し、都民に本校の教育活動を周知</p> <p>→【<b>3回の中学校訪問、3回の学習塾訪問を実施し、本校の教育活動を周知した。</b>】【C】</p> <p>エ 部活動の振興</p> <p>→【<b>部活動加入率は、77.4%であった。</b>】【B】</p> <p>オ 学校運営連絡協議会の評価を生かした学校づくり</p> <p>→【<b>学校運営連絡協議会の学校評価アンケートから、教室等の冷暖房の温度を適温にすることが求められたが、節電を優先したため、十分とはいえなかった。</b>】【C】</p>
<p>今年度の重点目標への取組</p>	<p>自己評価</p>
<p>1 <b>1退学者の減少</b> 転・退学者を6.0%以下にする</p> <p>2 <b>入学選抜応募倍率</b> 推薦入学：2.0倍以上 学力検査：1.4倍以上</p> <p>3 <b>資格取得指導</b> 資格・検定取得数490を目指す。 上級の資格・検定取得を目標とする。</p> <p>4 <b>小中高大学、企業等との連携</b> 地域との連携事業を15回以上実施する。</p> <p>5 <b>部活動加入者の増加</b> 全校生徒の部への加入率を70%以上とする。</p> <p>6 <b>生徒の学校満足度</b> 学校運営連絡協議会アンケートの生徒の満足度を80%にする。</p> <p>7 <b>進路決定率</b> 進路決定率を100%にする。</p>	<p>1 [数値目標] 退学者6.0% →【<b>不本意入学生徒の減少のため、中学校訪問を3回実施。また、学校説明会を7回実施。毎朝の校門におけるあいさつ指導や身だしなみ指導(頭髪、服装)、定期考査ごとの身だしなみ指導を実施。転・退学者は14名であり、退学率は2.9%であった。</b>】【A】</p> <p>2 [数値目標] 推薦に基づく選抜の応募倍率2.0倍 [数値目標] 学力検査に基づく選抜の応募倍率1.4倍 →【<b>推薦の応募倍率は1.8倍、学力検査の応募倍率は1.2倍と、前年を下回った。</b>】【B】</p> <p>3 [数値目標] 資格取得490 →【<b>始業前の朝の講習会の実施や放課後の講習会を実施するなど資格・検定の合格者の増加を図り、総資格取得数は472であった。取得数は目標に達しなかったが、2級電気工事士に17名が合格し、ジュニアマイスターゴールド1名が出た。</b>】【B】</p> <p>4 [数値目標] 連携事業を延べ15回以上実施 →【<b>夏休みわくわくどきどき工作スタジオ(2日間・80名)、町田市科学教室(2日間・40名)、忠生中学体験授業(30名)、町田市少年少女発明クラブのペットボトルロケット大会(参加者約100名)、小学生パソコン教室(20名)、初心者パソコン教室(20名)、町田・八王子中学生バドミントン講習会(200名)、競技会(約200名)、東京工芸大学講師の方による上級学校体験授業を実施</b>】【A】</p> <p>5 [数値目標] 部活動加入率70% →【<b>加入率は1年生82%、2年生80%、3年生68%、全学年77%</b>】【B】</p> <p>6 [数値目標] 生徒の満足度80% →【<b>生徒満足度は55.1%であった。</b>】【C】</p> <p>7 [数値目標] 進路決定率100% →【<b>進路決定率は学校紹介の就職は95.5%であった。しかし、進路未定者(進学準備、アルバイト等)が21名おり、全体では85.4%の進路決定率であった。</b>】【B】</p>

次年度以降の課題	対応策
<p><b>【学習指導】</b> 分かる授業を目指し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。</p> <p><b>【生活指導・保健指導】</b> 自律した生徒の育成</p> <p><b>【進路指導】</b> 生徒の希望進路の実現</p> <p><b>【特別活動】</b> ・生徒の帰属意識を高め、放課後の居場所を作る ・文化祭、体育祭を充実させる。</p> <p><b>【募集・広報活動】</b> 応募倍率の維持向上</p> <p><b>【学校経営・組織体制】</b> 迅速な情報共有で組織的対応教育活動の環境整備</p> <p><b>【防災教育】</b> 防災教育の充実を図る。 防災教育推進委員会を設置する。</p>	<p><b>【学習指導】</b> ・学力向上推進委員会を中心として、全教科で「分かる授業」を徹底し、生徒のやる気を引き出す。 ・生徒のつまづきを明らかにし、分かる授業を展開する。そこから考えさせる授業、考えたことを表現させる授業へと展開する。</p> <p><b>【生活指導・保健指導】</b> ・全教職員による共通認識に基づき、授業・全校集会・ホームルーム・部活動等の機会に生徒の自覚を高める指導を継続し、身だしなみを整え、時間管理のできる生徒へと育成する。 ・スクールカウンセラーを有効活用し、生徒・保護者に利用方法を周知するとともに、保健部、特別支援教育委員会と連携して生徒個々に有効な指導方法で対応する。</p> <p><b>【進路指導】</b> ・生徒情報を共有し、担任・副担任・教科担任・部活動顧問等あらゆる場面で生徒を励ます指導を行う。 ・進路講話、進路ガイダンス等をさらに充実させ、社会人としての勤労観・職業観・規範意識を育む。</p> <p><b>【特別活動】</b> ・新入生への部活動参加を奨励するとともに、2年次生への部活動継続を促し、活性化を図る。 ・生徒主体で文化祭、体育祭を実施し、生徒の自主・自立の精神を育成する。</p> <p><b>【募集・広報活動】</b> ・総合情報科高校の特色を生かした各系列のものづくり教室や1日体験入学をさらに充実させ、工業・情報教育に関心のある応募者を増やす。</p> <p><b>【学校経営・組織体制】</b> ・学校経営計画に基づいた分掌の目標設定、中間総括、年度末総括といったマネジメントサイクルを必ず行う。また、迅速な情報共有を推進し、常に組織としての対応を心がける。 ・生徒が安全・快適に学校生活を過ごせるよう、物品・施設・設備の保全に努める。</p> <p><b>【防災教育】</b> ・防災教育の充実を図る。年4回の防災訓練を実施するとともに、特に宿泊防災訓練を充実させ、生徒の防災意識の向上を図る。 ・校内防災体制を確実に機能させる。そのために、日常的に検証を行う。 ・防災教育推進委員会を設置して、これらの事項の検証と防災教育の充実を図る。</p>